

ベトナム・タイムズ

代表：朝妻小津枝 080 - 5070 - 4707/ベトナム091-515-3640 (Ms. Thuy)

E-mail vietnamtimes@hotmail.co.jp <http://vietnamtimes.jp>

〒112 - 0014 東京都文京区関口 1 - 4 - 10 (株)ISC 気付)

— 5月6日(火) —

[政治・政策]

T0(1) 『中国の南シナ海での掘削活動を非難』
外務省ビン報道官は4日、中国の海上安全当局が3日に「南シナ海で5月2日から8月15日まで掘削活動を行う」と通告したことに対し、「ベトナムの領海内でベトナム以外の国がベトナムの許可なく行う活動は違法であり、強く反対する」と語った。ビン報道官は、「中国当局が通告の中に掲げたエリアはベトナムの沖合約120海里にあり、完全にベトナムの排他的経済水域と大陸棚だ。ベトナムは、ホアンサ諸島(パラセル)とチュオンサ諸島(スプラトリー)に対する主権を主張するに十分な歴史的証拠と法的基盤があり、大陸棚及び排他的経済水域に対する管轄権は、1982年に国連で採択された海洋法に関する国連条約に合致している」と強調した。

K(2) ラオカイ国境ゲート税関：自動通関システムの導入に向け今月5日から輸出入手続きを停止

[経済]

VE(3) 『工業生産伸び率、この3年間で最大』
HSBCの最新報告書によると、ベトナムの工業生産伸び率がこの3年間で最も高くなった。経営状況の改善を背景に4月は新規受注量が大幅に増加し、生産活動と購買の拡大につながった。HSBCの報告によれば、購買担当者景気指数(PMI)は3月の51.3から4月は53.1に上昇。2012年5月にPMI指数の発表が始まって以来、最も高くなった。また、新規受注が大幅に増加し、海外からの新規受注はこの3カ月間で最大となった。こうしたことから、ベトナムの生産指数は2011年4月に次ぐ過去2番目の伸びを示した。HSBCのグエン経済アナリストは、「生産分野の改善は弱含みが続く国内需要を押し上げる中心的原動力となっている」と分析。「国内生産の増加を背景に、輸出が伸びていくだろう」と期待を示す。ただ、HSBCでは、「ベトナムが将来的に国際市場での競争力を高めるには、インフラに関連した問題を解決し、行政手続きを簡素化し、サプライチェーンの再編や価格自由化を推し進める必要がある」とも指摘。その一方で、国有企業が一部の重要分野で独占的である状況を「民間セクターの活動に影響する」とも懸念している。

T0(4) 小規模企業が全体の99.9%：ベトナム全土には企業50万社超→大企業2%(国有3000社、外資系約8000社)、中規模企業2%、残り96%は小規模企業や零細企業(多くが従業員10人以下)で個人事業主を含めると全体の99.9%に/ベトナムはドイモイによる成果もあったが世界のライバルと戦える大企業や大きなブランドはまだ

D(5) 車輸出(1~4月)：品目別では携帯電話が77億ドルで最多&繊維・縫製品59億ドル、靴29億ドル、水産物22億ドル、コーヒー16億ドルなど/総額で推計457億ドル

D(6) 車輸入(1~4月)：推計451億ドル/貿易収支は4月は赤字見通したが1~4月では黒字を確保

T0(7) 株式市場が順調に回復(1~3月)：調達額85兆3000億ドン(前年同期比31.51%増)/3月末時点での企業時価総額1207兆ドン(昨年末比258兆ドン増)

T0(8) ベトナム航空：時価総額27億4000万ドルと発表/公開株式数は市場需要に応じて6月に首相が承認予定

K(9) カシューナッツ輸出：今年約18万トン(18億ドル)見通し/関連商品(油や加工品など)を含めると約22億ドル

[社会]

K(10) ベトナム韓国クアンガイ職業専門学校の建設起工：韓国政府の優遇融資による5つの職業専門学校建設計画のうちの1つ/建設費2700億ドン

TT(11) 交通事故：4月30日~5月3日の4連休中にベトナム全土で193件(99人死亡、127人負傷)/フック副首相は交通警察など関連機関にパトロールや交通安全違反行為の取り締まり強化を指示(速度違反、飲酒運転、ヘルメットの未着用、3人・4人乗りなど)

[その他]

T0(12) コメ：フィリピンでの入札でビナフード1と2が計80万トンを落札/今年8月までに引き渡し

T0(13) カナダ系ベスラ・グループ(クアンナム省で金を採掘)が運営するフォックン・ゴールド有限会社とボンミエウ金採掘有限会社に対する総額1200万ドルの輸出税追徴決定が取り消しに：ボンミエウ金採掘有限会社は資金問題や厳しい気象条件のために2013年11月から活動停止を余儀なくされていたが今月1日から活動を再開

D:ダウトゥ KS:キンテサイゴン SG:サイゴンザイフン K:トバオキテー P:ベトナムプラス TT:トイェ VN:VNエコノミー VE:VNエキスプレス T0:その他

本誌はベトナム主要紙をそのまま翻訳したものです。記事内容については本紙の責任外になります。

在ベトナム日本国大使館ホームページ <http://www.vn.emb-japan.go.jp>

社団法人ベトナム協会 <http://www.javn.jp>